

## BERTモデルを用いた和文英訳添削システム（研究の進捗発表（シニア（大学4年生以上），概要講演あり，新規発表））

著者	松井 颯汰，綱川 隆司，西田 昌史
雑誌名	情報学シンポジウム2020
巻	2020
発行年	2020-12-25
出版者	情報学シンポジウム2020実行委員会
著者版フラグ	publisher
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00028315">http://hdl.handle.net/10297/00028315</a>

## BERT モデルを用いた和文英訳添削システム

松井颯汰（静岡大学情報学部情報科学科），  
綱川隆司（静岡大学大学院情報学領域），  
西田昌史（静岡大学大学院情報学領域），  
西村雅史（静岡大学大学院情報学領域）

和文英訳は高校・大学受験において出題されるなど外国語の習得において重要なスキルである。和文英訳を自習する際には自分の答案と正解例を見比べることになるが、学習者が自ら添削を行うのは難しいことがある一方で、習熟者による添削にはコストがかかってしまうという問題がある。このような背景から和文英訳自動添削の研究・開発が行われているが、それらのシステムの大半は文法的な添削に特化しており意味的な内容添削が不十分である。そこで、本研究では近年言語モデルとして高精度を出した BERT モデルに基づき、意味内容を自動添削する和文英訳自動添削システムの開発を行っている。本発表ではシステム概要および開発の進捗状況を報告する。